

マラソン 新年の走り初め楽しむ
第37回北秋田市元旦マラソン

第37回北秋田市元旦マラソンが、1月1日に市役所周辺をコースに行われ、幼児から一般まで237人が参加し、新年の走り初めを楽しみました。

体力向上と健康なまちづくりを目的に北秋田市陸上競技協会（佐藤要会長）が主催し、競技は距離2キロのファミリーコースと4キロのチャレンジコースの2部門で実施。午前10時30分、号砲とともにスタートしたランナーたちは、小雨の降るなか、沿道の家族や友人から熱い声援を受けながら思い思いのペースで走り、心地よい汗を流しました。



地域行事 大音響で新年の門出を祝う
平成30年「大太鼓叩き初め」

新春恒例の「大太鼓叩き初め」が、1月2日に大太鼓の館で行われ、大太鼓の館とぶっさん館への誘客、施設での無事故や市の発展などを祈願しました。

神事に続き、上町・下町大太鼓保存会を代表して下町大太鼓保存会の鈴木祐悦会長が「今年はいぬ年。秋田犬と大太鼓を核にしたイベントがたくさん開催されることを大いに期待している」などとあいさつ。

このあと、両保存会が2曲ずつ披露し、最後に共同で「街道下り」を打ち鳴らし、4張りの大太鼓で迫力あふれる大音響をとどろかせました。



地域行事 今年の五穀豊穡を祈願
JA鷹巣町青年部「雪中田植え」

今年の稲作の豊凶を占う小正月行事の雪中田植えが、1月15日に大太鼓の館前で行われ、地域の農業関係者など約50人が今年の豊作を祈りました。

この日は、JA鷹巣町青年部の小坂亮太さんが、昔ながらのけら、菅笠姿で田植え人を務め、1.8メートル四方の雪田に、稲苗に見立てた稲わらと豆がらの束をていねいに植え付けました。

そのあと、虫除けや田の目印となるわらぼうきを逆さにして雪田の中央に立て、大根の煮しめやナマス、デンプ、お神酒を供え、五穀豊穡を祈願しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



事業開始 待望の宿泊事業始まる
クウンス森吉宿泊事業開業式

クウンス森吉宿泊事業開業式が、12月25日に同所で行われ、地元住民や関係者など約10人が出席し、今後の誘客と利用者の安全安心を祈願しました。

整備された宿泊施設は、10畳が3室、14畳と28畳が1室ずつの合計5室で、最大36人の宿泊が可能になり、併せて洗面所やトイレも改修されました。

神事のあと、ぶなの郷あきた株式会社の間杉政明代表取締役が「駅に宿泊できる施設は全国でも珍しい。森吉山への観光客などに利用してもらい、阿仁前田駅のにぎわい創出につなげたい」と話しました。



就任報告 コーチ留学の経験生かしたい
中嶋聡さんが日本ハムのコーチ就任報告

北秋田市出身で「北海道日本ハムファイターズ」のゼネラルマネージャー特別補佐を務めた中嶋聡さんが、12月28日に高校時代の恩師と市野球協会会長とともに市役所を訪れ、津谷市長にチームのバッテリー兼作戦コーチに就任したことを報告しました。

中嶋さんは、米大リーグ「サンディエゴ・パドレス」にコーチ留学した経験から「日本に合う米大リーグの良いところ、日本の良いところを取り入れたい」などと語りました。津谷市長は「今度はコーチとしての活躍を期待しています」などと激励しました。



地域安全 交通安全と防犯へ誓い新たに
交通指導隊・防犯指導隊 安全祈願式及び査閲式

北秋田地区交通指導隊連合会（柏木良二会長、隊員44人）と北秋田地区防犯指導隊連合会（戸島昭彦会長、隊員41人）の安全祈願式及び査閲式が、1月6日に森吉コミュニティセンターで行われ、交通安全と防犯への誓いを新たにしました。

査閲官の津谷市長らが隊員の服装などを点検したあと、柏木会長は「子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転の根絶などに全力で取り組む」、戸島会長は「地域防犯の重要性を広く浸透させるため、関係機関と連携を図る」と、それぞれ決意表明しました。



新春交流 商売繁盛と地域発展願う
第41回北秋田市新春交流会

北秋田市商工会女性部（和田テエ子部長）主催の第41回北秋田市新春交流会が、1月18日に市民ふれあいプラザで開かれ、商工会会員や各団体長など約420人が出席し、新年の門出を祝いました。

交流会で和田部長は「今後も地域の皆さんや行政と手を携えて、活力ある地域づくりを目指して活動したい」などとあいさつを述べました。

新年にふさわしい華やかな雰囲気の中、出席者たちは新年のあいさつを交わしながら、景気の見通しなどを話題に、和やかに交流を深めました。

